

**製品名: CDHF10 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08540**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

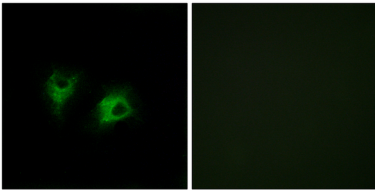
遺伝子名	CELSR2 CELSR2; CDHF10; EGFL2; KIAA0279; MEGF3; Cadherin EGF LAG seven-pass G-type receptor
別名	2; Cadherin family member 10; Epidermal growth factor-like protein 2; EGF-like protein 2; Flamingo homolog 3; Multiple epidermal growth factor-like domains
遺伝子 ID	1952.0
SwissProt ID	Q9HCU4
免疫原	抗血清はヒト CELSR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 2781-2830

**背景**

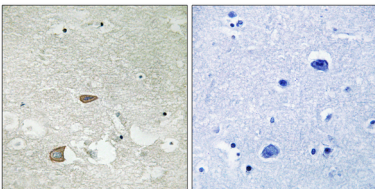
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、カドヘリンスーパーファミリーに属するフラミンゴサブファミリーのメンバーです。フラミンゴサブファミリーは、カテニンと相互作用しない非古典型カドヘリンで構成されています。フラミンゴカドヘリンは細胞膜に局在し、細胞外ドメインに9つのカドヘリンドメイン、7つの上皮成長因子様リピート、および2つのラミニン A G 型リピートを有しています。また、このサブファミリー特有の特徴として、7つの膜貫通ドメインも有しています。これらのタンパク質は接触を介したコミュニケーションに関与する受容体であると仮定されており、カドヘリンドメインはホモフィリック結合領域として機能し、EGF 様ドメインは細胞接着および受容体-リガンド相互作用に関与しています。この特定のメンバーの具体的な機能は未だ解明されていません。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: 神経系形成における細胞間シグナル伝達において重要な役割を果たす可能性のある受容体。 ,PTM: 鉄および 2-オキソグルタル酸依存性のアスパラギン酸およびアスパラギンの 3 位水酸化は、EGF ドメイン内で (R) 立体特異的である。 ,類似性: G タンパク質共役受容体 2 ファミリーに属します。 LN-TM7 サブファミリー。 ,類似性: 1 つの GPS ドメインを含む。 ,類似性: 1 つのラミニン EGF 様ドメインを含む。 ,類似性: 2 つのラミニン G 様ドメインを含む。 ,類似性: 7 つの EGF 様ドメインを含む。 ,類似性: 9 つのカドヘリンドメインを含む。 ,組織特異性: 脳と精巣で最も高い発現を示す。 ,

## 研究分野

## 画像データ



CELSR2 抗体を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



CELSR2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。